

中学歴史プリント（過去問類似）

安土桃山時代

名前

得点

/9

問1 安土桃山時代、織田信長や豊臣秀吉に仕え、豪華な文化が栄えるなかで、無駄を徹底的に省いた質素で静かな美しさを重んじる「わび茶」を大成させた人物は誰ですか。（2024年 栃木公立入試 類似）

1. 千利休 2. 世阿弥 3. 雪舟 4. 狩野永徳

問2 日本の歴史における出来事の順序として、琉球王国が建国された15世紀よりも後に起こった事柄として適切なものを次から選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 豊臣秀吉による文禄・慶長の役（朝鮮出兵） 2. 平清盛による大輪田泊の修築と日宋貿易の推進 3. 鎌倉幕府がモンゴル帝国の侵攻を退けた元寇 4. 足利義満による金閣の建立と日明貿易の開始

問3 狩野永徳が描いた「洛中洛外図屏風」には、金箔を用いた豪華な雲の合間に京都の市街地や賑わう人々が色彩豊かに描かれており、当時の活発な経済活動がうかがえます。このような都市の活気の一因となった、信長が「座」の特権を否定し市場の税を免除した政策を何とといいますか。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 楽市・楽座 2. 太閤検地 3. 刀狩 4. 打ちこわし

問4 織田信長が比叡山延暦寺を焼き討ちし、長島や越前の一方向一揆に対して大規模な攻撃を行った理由として、当時の社会背景を踏まえた説明として正しいものはどれですか。（2019年 島根公立入試 類似）

1. 大名に匹敵する軍事力や経済的特権を持つ寺社勢力が、新しい統治体制を築く上での大きな障壁となったから。 2. 仏教の教えが農民たちの労働意欲を低下させ、年貢の徴収が困難になることを恐れたから。 3. 鉄砲などの最新兵器を独占していた寺社から、それらの技術を武力で奪い取る必要があったから。 4. キリスト教を国教として定着させるために、古い宗教である仏教を日本から完全に排除しようとしたから。

問5 「文芸復興」とも呼ばれる14世紀のイタリアで興った文化運動において、当時の人々が目指した内容として最も適切な説明を選んでください。（2025年 和歌山公立入試 類似）

1. 古代ギリシャやローマの古典文化を復興させ、人間中心の文化を創造すること 2. 免罪符の販売などを批判し、キリスト教の信仰の在り方を正すこと 3. 理性に基づき、社会の偏見や旧来の制度を打ち破ろうとすること 4. 科学技術の向上によって、工場の機械化や生産体制の変革を進めること

問6 豊臣秀吉による宣教師の国外追放（バテレン追放令）に関連して、当時の外交や宗教政策について説明したものととして正しいものはどれですか。（2022年 山形公立入試 類似）

1. 秀吉はキリスト教の布教を制限したが、ポルトガルとの南蛮貿易自体は利益をもたらすものとして継続を認めた 2. 秀吉は宣教師を追放すると同時に、長崎を唯一の窓口とする鎖国体制を完成させ、オランダ以外のヨーロッパ諸国を完全に排除した 3. 宣教師の追放をきっかけにキリスト教が完全に消滅したため、秀吉は後にキリシタンを摘発するための踏絵を全国で実施した 4. 秀吉は宣教師を追放する一方で、国内の仏教勢力を抑えるために、各地の藩校にキリスト教の教義を取り入れるよう命じた

問7 16世紀に行われた南蛮貿易の特徴について、それ以前に行われていた日宋貿易や日明貿易と比較した説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. ポルトガルやスペインを相手とし、キリスト教の布教を伴って行われた。 2. 明の皇帝に対して日本が朝貢する形式をとり、勘合という札を用いて行われた。 3. 宋から大量の銅銭を輸入し、日本の貨幣経済を浸透させる目的で行われた。 4. 幕府がキリスト教を禁止したため、長崎の出島でオランダ人のみを相手に行われた。

問8 16世紀後半、ポルトガルやスペインの商人が来航した際に行われた南蛮貿易において、日本から海外へ輸出された主要な品物はどれですか。（2026年 千葉公立入試 類似）

1. 金 2. 銀 3. 銅 4. 生糸

問9 16世紀初めのドイツにおいて、ルターが免罪符（贖宥状）の販売といったカトリック教会の腐敗を批判し、聖書に基づいた信仰を主張したことから始まった一連の動きを何とといいますか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 宗教改革 2. ルネサンス 3. 十字軍 4. 産業革命

答え合わせ・解説

問1	答え 1 千利休	豊臣秀吉に重用された茶人であり、禅の精神を取り入れた「わび茶」を完成させました。当時の武士たちの間では、茶の湯は単なるたしなみだけでなく、政治的な交渉や精神修養の場としても極めて重要な役割を果たしていました。
問2	答え 1 豊臣秀吉による文禄・慶長の役（朝鮮出兵）	豊臣秀吉による文禄・慶長の役は16世紀末（1592年～）に始まった出来事であり、15世紀の琉球王国建国よりも後の時代にあたる。平清盛の活動は12世紀、元寇は13世紀、足利義満の金閣建立は14世紀末の出来事であり、これらはすべて琉球王国の建国よりも前、あるいは同時代の早い段階に位置づけられる。
問3	答え 1 楽市・楽座	安土桃山時代は、織田信長や豊臣秀吉による全国統一の過程で、商業が大きく発展しました。信長が実施した「楽市・楽座」は、市場の税を免除し、自由な競争を促すことで、都市の繁栄と「桃山文化」と呼ばれる豪華で活気あふれる文化の形成を支える土台となりました。
問4	答え 1 大名に匹敵する軍事力や経済的特権を持つ寺社勢力が、新しい統治体制を築く上での大きな障壁となったから。	中世以来、有力な寺院や一向宗の門徒集団は、武装した僧兵や広大な領地（荘園）、関所の設置による通行税などの特権を持っていました。これらは信長が目指した強力な中央集権的統治や自由な商業活動（楽市・楽座など）にとって大きな妨げであったため、信長はこれらの中世的特権を持つ勢力を武力によって解体しようとした。
問5	答え 1 古代ギリシャやローマの古典文化を復興させ、人間中心の文化を創造すること	この運動は、中世のキリスト教的な価値観に縛られた文化から脱却し、人間らしい自由な表現を求めるものでした。その際の手本とされたのが、人間性が豊かに表現されていた古代ギリシャやローマの古典文化であったため、復興を意味する「ルネサンス」と呼ばれます。他の選択肢は、宗教改革や啓蒙思想、産業革命の説明です。
問6	答え 1 秀吉はキリスト教の布教を制限したが、ポルトガルとの南蛮貿易自体は利益をもたらすものとして継続を認めた	豊臣秀吉はキリスト教の布教が支配の妨げになると考えて宣教師の追放を命じましたが、一方で南蛮貿易によってもたらされる富や軍事物資（硝石など）は必要としていました。そのため、貿易そのものは禁止せず、布教と貿易を切り離して進めようとした。完全な鎖国の完成や踏絵の実施は江戸時代の出来事であり、また秀吉が藩校にキリスト教を取り入れるような政策を行った事実もありません。
問7	答え 1 ポルトガルやスペインを相手とし、キリスト教の布教を伴って行われた。	南蛮貿易は、それまでの中国王朝（宋や明）との貿易とは異なり、ヨーロッパ諸国が相手でした。イエズス会などの宣教師が貿易船に同乗して来日し、布教活動と貿易が一体となって進められた点が最大の特徴です。日明貿易で使われた「勘合」や、江戸時代の「出島でのオランダ貿易」とは時期や背景が異なります。
問8	答え 2 銀	当時の日本は石見銀山などの開発により、世界有数の銀産出量を誇っていました。この銀は、鉄砲や火薬、中国産の生糸といった高価な輸入品を決済するための重要な手段として使われ、世界の経済にも大きな影響を与えました。
問9	答え 1 宗教改革	16世紀のヨーロッパで起こったキリスト教の大きな変革運動です。ドイツのルターが、購入すれば罪が許されるとして販売されていた「免罪符」の効力を否定し、信仰のよりどころは教会や教皇の言葉ではなく聖書であると説いたことで、ヨーロッパ全域に波及しました。